

## 器具の取り付け方(つづき)

### 4. 別売の照明器具の取り付け

#### 【スポットライトの場合】

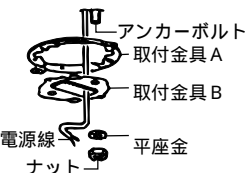
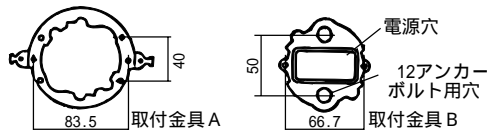
- ライティングダクト取付型のみ取り付け可能です。(使用にあたっては、スポットライトの取扱説明書に従い正しくご使用ください。)

#### 【ペンダントの場合】

- ライティングダクト取付型と引掛シーリング取付型のみ取り付け可能です。但し、引掛シーリング取付型の場合、ライティングダクト用引掛シーリング(別売)が必要です。(使用にあたっては、ペンダントの取扱説明書に従い正しくご使用ください。)

取付金具Aと取付金具Bを併用することにより、アウトレットボックス、コンクリートボックス、アンカーボルトに直接取り付けられます。この場合、器具の取り付けは電気工事に依頼してください。

- 付属の取付金具A・Bを重ね合わせ電源線を取付金具Bの電源穴に通し、天井のボックスまたはアンカーボルトに確実に取り付けてください。



**禁止** プラスチック製アウトレットボックスには取り付けない。  
\*落下の原因となります。

### 5. アジャスターの調整

両側のアジャスターを天井面に当たるまで調整してください。

### 6. 点灯確認

電源を **ON** にして、照明器具の点灯確認をしてください。

## 別売の取付可能器具について

### 1. ダクトレールの仕様

適合質量: 灯具合計5kgまで(片側...2~1kgまで)  
適合負荷: 600W(6A)まで

この器具は照明器具専用(ライティングダクト)です。調光器(当社商品名ライトロール)を併用する場合、蛍光灯を搭載した照明器具は使用しないこと。(別売の照明器具を確認してください。)



定格を超えて使用しない。

必ず守る

\* 火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。

### 2. 別売のスポットライトの仕様を確認する。

照射距離に制限がある場合は、取り付けの際に注意すること。

### 3. 別売のペンダントの仕様を確認する。

プルスイッチ付ペンダント、プーリーペンダントは、使用しないこと。

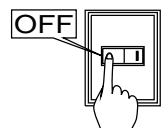
## 保守とお手入れ 常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

お手入れの際や、ランプの交換の際は必ず電源を切る。

\* 感電の原因となります。



必ず守る



器具のお手入れ



必ず守る

器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたきおとす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。  
\* 石けんとは天然油脂を原料としたものです。(商品表示が「石けん」であることを確認してください。)



禁止

\* 傷、変色の原因となります。



みがき粉やベンジンなどでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけない。

## アフターサービス

もし器具に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式(器具銘板に表示してあります。)故障状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

### お客様メモ

後日のために記入しておいてください。  
サービスを依頼される時にお役に立ちます。

購入店名 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_  
ご購入年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

**日立ライティング株式会社**

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256

## 取扱説明書

保存用

日立照明器具

**HITACHI**  
Inspire the Next

ダクトレール LDC1002

このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

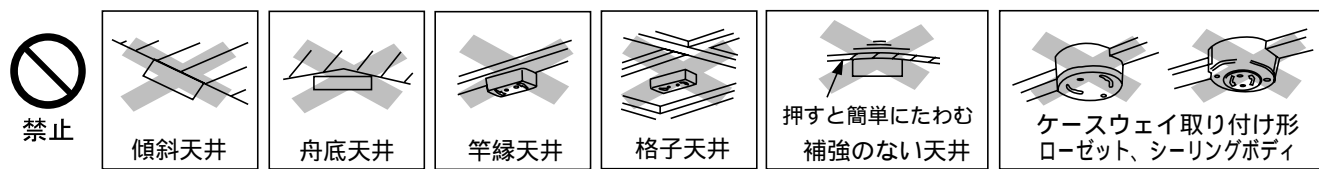
## 安全上のご注意



警告

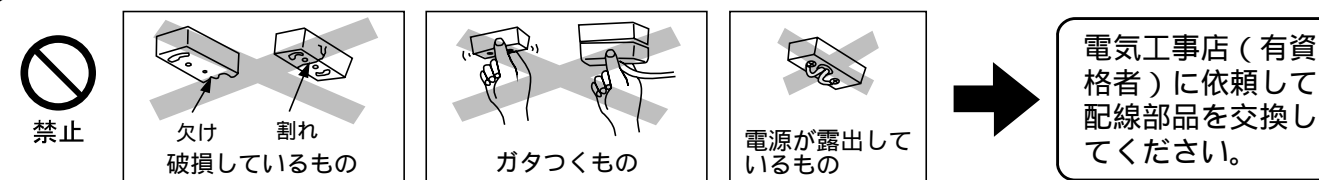
このような場所には取り付けない。(この器具は天井面取り付け専用です。)

\* 器具の落下によるけがの原因となります。



このような配線部品には取り付けない。

\* 火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。



電気工事店(有資格者)に依頼して配線部品を交換してください。

床面より1.8m以下になる場所には取り付けない。

\* 感電の原因となります。

器具の改造、構成部品(ソケットなど)の交換はしない。

\* 火災・感電・故障の原因となります。

壁面および床面に取り付けたり、床面に置いて使用しない。

\* 落下・感電・故障の原因となります。

プーリー式および、プルスイッチ付ペンダント器具を取り付けない。指定質量以上の重い器具を取り付けない。

\* 落下・感電・故障の原因となります。

ダクトレール部に照明器具以外のものを取り付けたり、衣類などを吊り下げたりしない。

\* 火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。

器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。

\* 感電・故障の原因となります。



注意

定格電圧 交流100V以外で使用しない。

\* 過熱し、火災の原因となります。

浴室などの湿気の多い場所や常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しない。

\* 絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。

お手入れの際は、必ず電源を切る。

\* 電源を切らないと感電の原因となります。

器具の真下にストーブなどを置かない。

\* 過熱し、火災の原因となります。

屋外で使用しない。(この器具は屋内専用です。)

\* 火災・感電の原因となります。

器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。

\* 器具の落下によるけがの原因となります。

エアコンの吹き出し口の前など常時風の当たる場所や強い風の当たる場所には取り付けない。

\* 器具の落下によるけがの原因となります。

## 器具を取り付ける前に

天井にこのような配線部品がついている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。



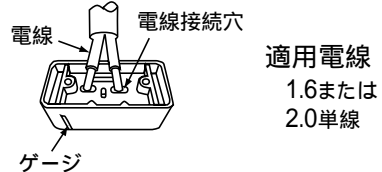
**必ず守る** 天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。  
\*しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。

## 電気工事店(有資格者)のかたへ

付属の角形引掛シーリングボディを取り付ける場合は次の方法で行ってください。

電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。

\*なべ皿木ねじは、あらかじめはずしておいてください。



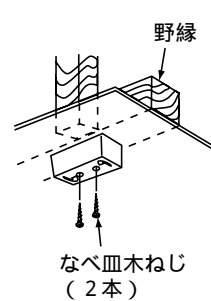
適用電線  
1.6または  
2.0単線

### 解除のしかた

⊖ドライバーを電線はずし穴に強く差し込んで、電線をひっぱってください。



角形シーリングボディに付いているなべ皿木ねじで天井に取り付けてください。



**必ず守る** 野縁などの補強材のある所に取り付ける。  
\*補強材のないところに取付けると器具の落下によるけがの原因となります。

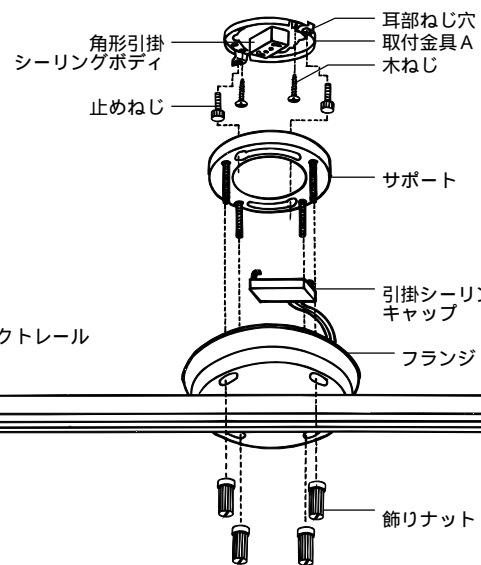
## 各部の名称

図は取り扱いを説明するために、一部省略抽象化した共通図です。

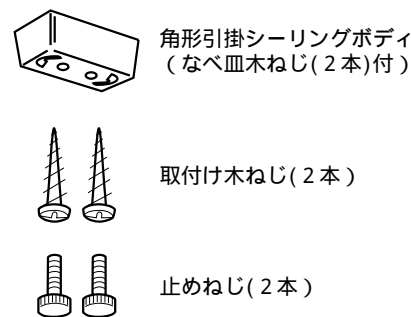
下図を参照して、各部品をお確かめください。

### 取付可能な照明器具

適合質量：灯具合計5kgまで(片側...2~1kgまで)  
適合負荷：600W(6A)まで



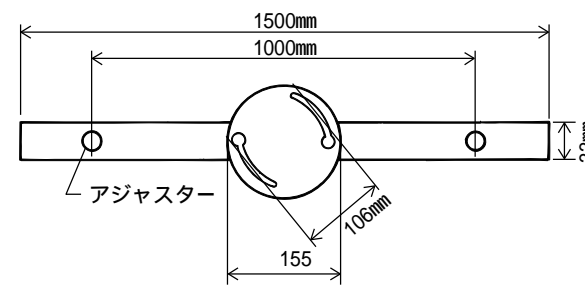
### 付属部品



## 器具の取り付け方

電源を切ってください。(壁スイッチをOFFにしてください。)

取付寸法を確認してから、取付金具を取り付けてください。



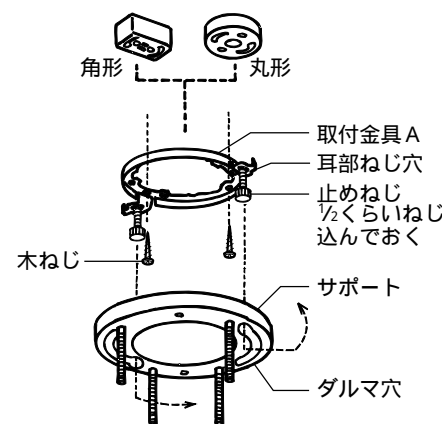
•器具寸法を確認してから施工してください。

取付寸法

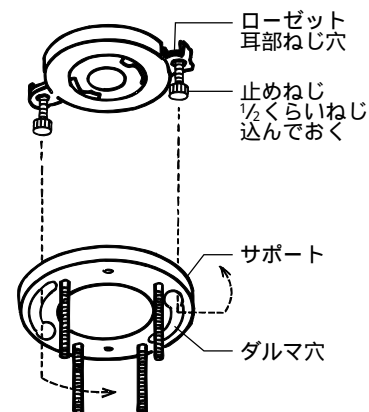
## 1. 取付金具の取り付け

•角形・丸形引掛シーリングが取り付けられている場合  
付属の取付金具Aを引掛シーリングの中心に合わせて付属の木ねじ(2本)でしっかりと取り付けてください。付属の止めねじ(2個)を取付金具Aの耳部ねじ穴へ1/2くらいねじ込んでください。取付金具Aに取り付けた止めねじへサポートのダルマ穴を差し込んで右に回転させ止めねじを固定してください。(その際、器具の取付寸法(上図)を確認してからドライバーで増し締めしてください。)

(角形引掛シーリングボディは付属品です)

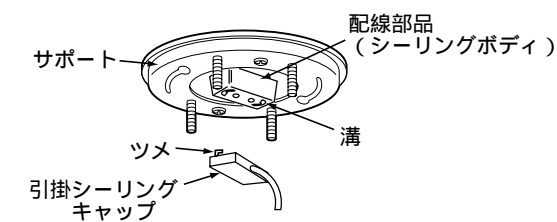


•埋込引掛シーリング(ハンガー付)が取り付けられている場合  
付属の止めねじ(2個)をローゼット耳部ねじ穴へ1/2くらいねじ込み、サポートを角形・丸形引掛シーリングと同様に取り付けてください。



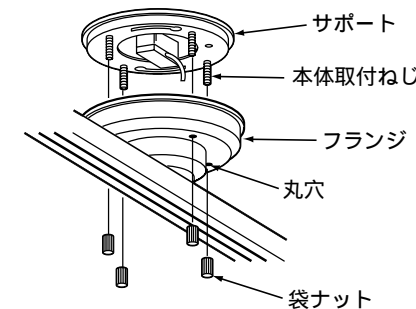
## 2. シーリングキャップの接続

引掛シーリングキャップを引掛シーリングボディに取り付けます。

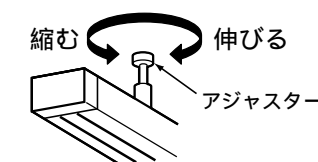


## 3. 本体の取り付け

器具本体を持ち上げ、フランジをサポートに飾りナット(4個)でしっかりと取り付けてください。



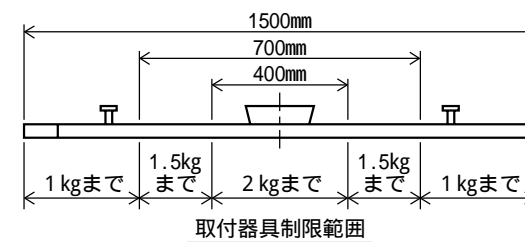
天井面とアジャスターに隙間がある場合、アジャスター(2個)を天井面にあたるように回転させてください。



- ご注意 -

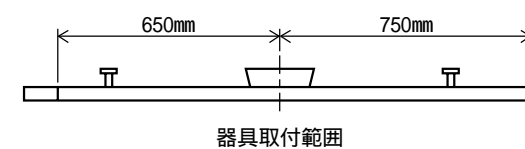
天井の材質などによってアジャスターのあとが残る場合があります。

取付位置によって取付器具質量の制限がありますのでご注意ください。



取付器具制限範囲

別売器具取付範囲については、下図を参照してください。



器具取付範囲

**必ず守る** 取り付け後、本体を軽くひっぱり、確実に取り付けられていることを確認する。  
\*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。